

科目ナンバリング		P-PUB01 8N015 LJ90					
授業科目名 <英訳>	遺伝医療と倫理・社会 Genetic Medicine, Ethics and Society			担当者所属・ 職名・氏名	附属病院	特定准教授	小川 昌宣
					医学研究科	特定講師	川崎 秀徳
				医学研究科	特定助教	鳥嶋 雅子	
				医学研究科	特定助教	吉田 晶子	
配当学年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期		
曜時限	水2・その他開講日注意	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語		
【授業の概要・目的】							
【基本情報】 授業日時：水曜2限を原則とする（例外予定にご注意ください） 教室：G棟3階演習室・状況によりオンライン授業を実施することがある レベル：基礎 担当者：小川昌宣（科目責任者）・小杉眞司・和田敬仁・川崎秀徳・中島健							
【コースの概要】 遺伝医療・先端医療においては、倫理的な配慮は不可欠である。遺伝医療を中心とした医療倫理の基本について学ぶ。特に種々のガイドラインの理解は極めて重要である。また、社会的な基盤を含む日本の遺伝医療の現状について理解する。							
【到達目標】 遺伝医療・医学に関する倫理指針、遺伝学的検査、小児・産婦人科遺伝医療における倫理問題の基本、社会基盤について理解する。							
【授業計画と内容】							
【第1回】4月10日<小杉>「遺伝医療総論」遺伝カウンセラーコースの必修科目の最初のものとして、必ずしも「倫理」にかかわらず、全般的なイントロダクションを行う。また、遺伝医療における倫理問題の特性、遺伝情報の共有、意図しない遺伝情報の開示などについて考える							
【第2回】4月10日3限目<和田>「生命倫理観の多様性」患者やクライアントの持つさまざまな生命倫理観を理解し、対応する方法を考える							
【第3回】4月17日<小杉>「遺伝医療に関するガイドライン」関連する種々のガイドラインについて考える							
【第4回】4月24日<和田>「小児遺伝性疾患の診断・告知と代諾」小児期発症の遺伝性疾患に対する倫理的問題を考える							
【第5回】5月1日<小杉>「遺伝学的検査と遺伝子解析」臨床検査として行われる遺伝学的検査と研究として行われるヒト遺伝子解析における倫理的問題点、研究と臨床の境界と区別について考える							
【第6回】5月8日<小杉>「発症前遺伝子診断」発症前遺伝子診断・易罹患性診断の意味とその問題点について、神経変性疾患、家族性腫瘍など疾患における違いを明確にしながら考える							
【第7回】5月15日<小川>「治療法・予防法のある疾患の発症前診断・易罹患性診断」いわゆる Actionable な遺伝性疾患、特に遺伝性腫瘍における血縁者のバリエーション保持診断の意義について考える							
【第8回】5月22日<小杉>「キャリア診断・保因者診断・遺伝子例外主義」常染色体・X連鎖性劣性遺伝性疾患・均衡型染色体相互転座などにおける保因者診断の意味と問題点について考える。遺伝情報を特別に秘匿する必要があるとする遺伝子例外主義の問題点をい考える							
----- 遺伝医療と倫理・社会(2)へ続く -----							

遺伝医療と倫理・社会(2)

【第9回】5月29日<小川>「人工妊娠中絶」本邦における人工妊娠中絶について、その倫理問題について考える

【第10回】5月29日

4限<中島>「ゲノム医療における二次的所見の取り扱い」網羅的ゲノム解析が実臨床に導入されて来たことにより得られた本来の目的とは別の二次的所見に対応する際の倫理的な問題を考える

【第11回】6月5日<川崎>「新生児医療と倫理」新生児医療における倫理的問題について考える

【第12回】6月12日<小川>「出生前診断・生殖補助医療」出生前診断の倫理的問題について理解する。不妊・不育症治療としての生殖補助医療の倫理的問題点について詳細に検討する

【第13回】6月19日<中島>「遺伝子検査ビジネス」Direct-to-Consumer (DTC)遺伝子検査についてその意義・問題点を考える

【第14回】6月26日<和田>「「障がい」と生命倫理」「障がい」から生命倫理を考える

【第15回】7月3日<川崎>「少子化」年々出生数は減少し、少子化の進行が止まらない。少子化の何が問題であるのか、その対策の必要性を考える

【第16回】7月10日<吉田>本試験筆記試験

【第17回】7月31日<小川>再試験筆記試験

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース1回生必修科目

人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡

【成績評価の方法・観点】

試験、レポート、授業への積極的な参加、発表、出席等を総合的に評価する

【教科書】

随時配布する

【参考書等】

(参考書)

【授業外学修(予習・復習)等】

適宜指示する

(その他(オフィスアワー等))

講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。